

# 緑 GO GREEN でいこう

## 21世紀の物語、はじめよう



野党統一候補の擁立進む。森ゆうこ氏擁立の共同記者会見でスピーチする緑の党共同代表・中山均（新潟市議）。



4月24日投開票の衆院京都3区補選で、緑の党も推薦する泉ケンタさんが当選！共同代表長谷川羽衣子と。



4月24日投開票の衆院北海道5区補選では、緑の党も推薦する池田まささんが大善戦。緑の党は「イケマキでんわ勝手連」にも団体参加し、全国から応援しました。

今、「アベノミクス」というまやかしの言葉と施策に世の経済は踊らされ、原発の再稼働、TPPへの参加、そして日本のアイデンティティでもある平和憲法を危機にさらす政治が、安倍政権によって強引に進められています。このまま「借金」や「核のゴミ」を未来の世代に押しつけて生きる社会、地域経済や農業を破壊しながら成長する経済、「脅威」という言葉で煽られた不安で武装し、武器を売り、海外に派兵するような外交、そのどれも私たちは望みません。不安と強権に満ちた政治に対し、今回の選挙で「それは違う！」という意思をはっきりと示しましょう。

この夏の参院選に向けて、市民と野党の共同の取り組みが各地で進み、全国の緑の仲間もその中で活動し、つながりを広げています。3年前、私たちは初めて参院選に挑戦しましたが残念ながら緑の議席を実現できず、今回は候補者を立てることができませんでした。しかし、「緑」の存在は小さくとも、野党共闘というパワチワークの中で重要なカラーとなつて、その情熱と活動力は日本の政治を変えていく、欠かさない力となっています。

緑の党は、安倍政権が進む道とは異なる「未来」を示し、全国各地で野党共闘や推薦・応援候補の支援に全力を尽くします。

共同代表・2016参院選選対本部長 長谷川平和

## 私たちが望む未来へ THE FUTURE WE WANT

### 安倍政権に未来は託せない！ 緑の党2016参院選キャンペーン

緑の党は、「安倍政権にNO!」「改憲勢力に3分の2議席を渡さない」を掲げ、市民と野党の統一候補の実現や推薦候補などの応援に取り組み、同時に、安倍政権とは異なる「私たちの望む未来」を描いたパンフレット発行（裏面参照）やSNSでの発信、全国での一斉街頭宣伝などを展開しています。

#### ★野党統一候補

社 社民主党  
共 共産党  
民 民進党  
無 無所属

※県名右の数字は選挙区の定数



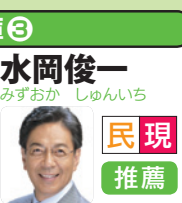
山口①★  
こうけつ厚  
無新  
応援



鳥取・島根①★  
福島浩彦  
無新  
推薦



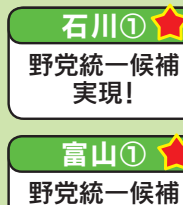
兵庫③  
金田峰生  
共新  
支持



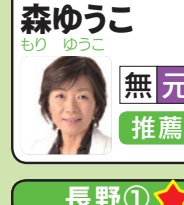
水岡俊一  
民現  
推薦



福岡①★  
横山龍寛  
無新  
推薦



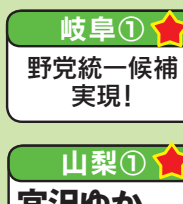
石川①★  
森ゆうこ  
無元  
推薦



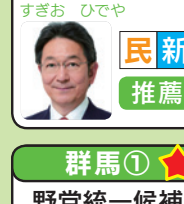
新潟①★  
森ゆうこ  
無元  
推薦



福島①★  
ましこ輝彦  
民現  
支持



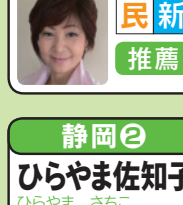
山梨①★  
宮沢ゆか  
民新  
推薦



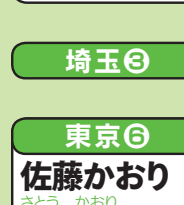
長野①★  
杉尾ひでや  
民新  
推薦



栃木①★  
たのべたかお  
無新  
推薦



山梨①★  
宮沢ゆか  
民新  
推薦



長野①★  
杉尾ひでや  
民新  
推薦



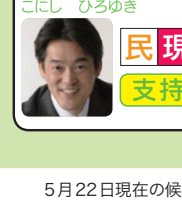
栃木①★  
たのべたかお  
無新  
推薦



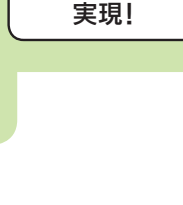
静岡②  
ひらやま佐知子  
民新  
支持



東京⑥  
佐藤かおり  
無新  
応援



千葉③  
浅野ふみ子  
共新  
支持



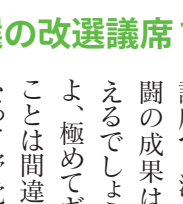
千葉③  
ましこ輝彦  
民現  
支持



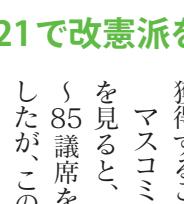
千葉③  
浅野ふみ子  
共新  
支持



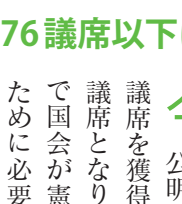
千葉③  
小西ひろゆき  
民現  
支持



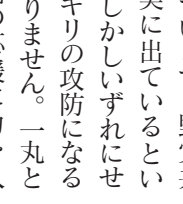
千葉③  
ましこ輝彦  
民現  
支持



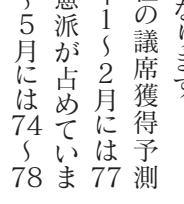
千葉③  
浅野ふみ子  
共新  
支持



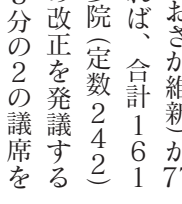
千葉③  
小西ひろゆき  
民現  
支持



千葉③  
ましこ輝彦  
民現  
支持



千葉③  
浅野ふみ子  
共新  
支持



千葉③  
小西ひろゆき  
民現  
支持



千葉③  
ましこ輝彦  
民現  
支持



千葉③  
浅野ふみ子  
共新  
支持



千葉③  
小西ひろゆき  
民現  
支持

## 野党共闘の成果は 確実に出ている

参院選の改選議席121で改憲派を76議席以下に！

今回の参院選で改憲派（自民、公明、おおさか維新）が77議席を獲得すれば、合計161議席となり、参院（定数242）で国会が憲法の改正を発議するために必要な3分の2の議席を獲得することになります。マスコミ各社の議席獲得予測を見ると、今年11・2月には77議席を改選派が占めていたが、この4・5月には74・78議席へと減少しています。野党共闘の成果は確実に出ていているといえるでしょう。しかしいざいぜよ、極めてギリギリの攻防になることは間違いありません。一丸となって野党候補の応援に力を入れる必要があります。



#### 比例区候補者



比例  
福島みずほ  
社現  
推薦



比例  
大河原まさ子  
民元  
推薦



エコロジカルな  
知恵



社会的  
公正・正義



参加  
民主主義



非暴力・  
平和



持続  
可能性



多様性の  
尊重

緑の党 グリーンプラン  
http://greens.gr.jp

地球ひとつで生きる





A4版 40Pフルカラー 頒価:200円  
制作・発行:緑の党グリーンズジャパン  
詳細は公式webサイト <http://greens.gr.jp>  
ご注文は[greens@greens.gr.jp](mailto:greens@greens.gr.jp)まで

# 7世代先を見据えて、25年後を考える

## 参院選パンフレット

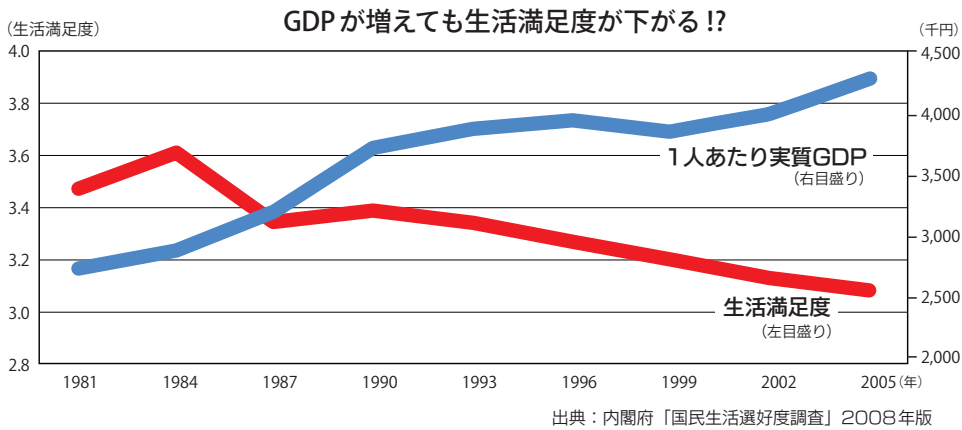
## 「私たちの望む未来 ～THE FUTER WE WANT～」 できました。

2040年、私たちの暮らしはどうなっているのでしょうか？

「この道しかない」と喧伝されたアベノミクスの行き詰まりが誰の目にも明らかになりつつある今、安倍政権のめざす方向とは違う、新たな社会・経済ビジョンが必要とされています。緑の党では、向こう25年を想定して、望む未来の方向性と現在の課題を「民主主義と平和」、「経済と雇用」、「みんなが人生を楽しむ社会」、「地球ひとつの暮らし」の4つの観点からみつめ、11の提言にまとめました。

### パンフレット第2章より抜粋・要約

## 「成長戦略」から「シェア戦略」へ



安倍政権は経済成長至上主義、5年以内にGDP600兆円をめざしています。しかし、経済が成長しGDPが増えても生活満足度が下がってしまう、そんな衝撃的な結果を示しているのが図の内閣府の調査です。

一人当たりGDPが1万ドルを超えると幸福度は上昇しないという調査結果もあります。日本はすでに2013年で3.71万ドル、世界一幸福といわれるデンマークと同程度です。しかし日本は先進国で2番目の貧困率の高さです。

たとえ成長が実現できたとしても、このままでは富裕層がさらに富み、格差と貧困が深まってしまうことは確実です。「格差と貧困」を解消するためには、「経済成長が実現できれば、すべて解決する」という経済成長至上主義の「成長戦略」から、すべての人々の幸福度が高まる分かち合いの制度を拡充させることが必要です。

緑の党は「成長戦略」から「シェア戦略」への抜本的転換を提言しています。

### パンフレット第4章より抜粋・要約

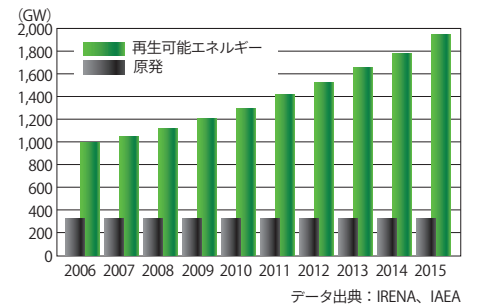
## 「保守的な気候変動対策」から 「未来への責任を果たす積極的対策」へ

人類の持続可能なレベルを遙かに超える化石燃料をつかった経済活動によって、地球がこれまで経験したことのないような速度で温室効果ガスが排出されています。現在の経済活動がこのまま続けられれば、化石燃料が枯渇するだけでなく、地球の金星化と言われるような取り返しのつかない状況につながる可能性もあります。

こうした悲劇を回避するためには、「地球ひとつで生きる」ための循環型社会をつくる必要があります。昨今の世界における再生可能エネルギーの拡大は、将来世代のための持続可能なエネルギー社会を構築するためのひとつの答えです。現在世界のエネルギー消費全体の19.1%、電力における22.5%がすでに再生可能エネルギーによってまかなわれ、この割合は年々拡大しています。また、2014年には、2700億ドルが再生可能エネルギーに対して投資され、770万の雇用を創出しており、各国政府も積極的にこれを支援しています。

このように世界で進行しているエネルギーシフトを前に、日本政府は何をためらっているのでしょうか。旧態依然の利権構造に支えられた政権では、日本がもつ高い技術力と豊富なポテンシャルを活かすことはできません。原子力という過去の技術信仰と「ベストミックス」という名の下に旧来型のエネルギー体制を維持することしかできない政権に未来を託すことはできません。地球規模の環境とエネルギー問題に対して、緑の党はグローバルなネットワークを活かしながら取り組んでいきます。

### 自然エネルギーへの移行は世界的潮流



### 6/12～/19 東京都 粕江市長選挙

#### 平井里美さんを推薦します

告示日 2016年6月12日(日)  
投票日 2016年6月19日(日)

新人／54歳／女性／非会員



### 自治体議員バックアップセミナー

緑の党では、自治体議員のバックアップとネットワークの強化、また地方議会に関心のある方の学びの場として、「自治体議員バックアップセミナー」を定期開催しています。5月10日には「下流老人 一億総老後崩壊の衝撃」などの著書のある藤田孝典さんをメインゲストに、「現場から学ぶ! 自治体の福祉入門編」を開催しました。次回開催は8月の予定です。



**緑の党**  
グリーンズジャパン

<http://greens.gr.jp>  
E-Mail [greens@greens.gr.jp](mailto:greens@greens.gr.jp)

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北2-3-4 高円寺ビル601  
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3223-0080

#### カンパにご協力を!

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金  
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行

口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党

他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金  
店名:〇一九(ゼロイチキュウ) 口座番号:262967

### パンフレット第1章より抜粋要約

## 「武力による軍事外交」から「9条を土台にした平和構築」へ

「安保法制」によって可能になった「集団的自衛権」「後方支援」「PKO任務拡大」は、自衛隊員にどんな現実をもたらすのでしょうか? 表をご覧ください。米軍は海外で多くの軍事行動を起こしてきましたが、そこでは、米軍兵士以外に、「有志連合」や「後方支援」に参加した他国の兵士も犠牲になっています。紛争地での武力行使を拡大しているPKOでも、犠牲者は増えています。そして、こうした軍事行動による民間人の犠牲も深刻です。自衛隊員が海外で殺し・殺され、その飛び火が国内にも及ぶ悲惨な事態が、現実のものになっていく可能性があります。

私たち緑の党は、安保法制や武力の強化ではなく、紛争を予防・解決するための外交や国際的な枠組み作り、そしてその貧困・飢餓・抑圧などを解決する、真の「積極的平和」をめざします。一国だけでなく世界の市民の平和と生存権を前文で謳い、非戦の9条を掲げる日本だからこそ貢献できる平和へのリーダーシップを、積極的に果たさなければなりません。緑の党は、平和構築への積極的なリーダーシップを果たす日本をめざします。

### 「集団的自衛権」「後方支援」「PKO任務拡大」により、自衛隊員にどんな現実が待っているのか?

#### I 米国が関わった戦争での犠牲者数

|                     | 米軍兵士の犠牲  | 米軍以外の兵士の犠牲                                                                           | 民間人等の犠牲                    |
|---------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ベトナム戦争 (1960～1975年) | 45000人以上 | ●軍事同盟に基づく「集団的自衛権」を理由に参戦した韓国軍約5000人                                                   | ベトナム人(兵士・民間人含む) 120万～170万人 |
| アフガニスタン戦争 (2001年～)  | 2300人以上  | ●「集団的自衛権」を理由に参戦した英国軍 400人以上<br>●輸送や物資提供の「後方支援」を中心に活動したドイツなど、20か国以上で計約670人(上記英国軍犠牲含む) | 24000人以上                   |
| イラク戦争 (2003年)       | 4500人以上  | ●「有志連合」各国兵士4800人以上<br>●「後方支援」に関わった参戦国でも計130人以上                                       | 各種統計で異なるが数万～50万人とされる       |

#### II PKOでの犠牲者数と任務の変化 安保法制における自衛隊 PKO

| 期間                                 | 犠牲者数      | PKO任務の変化                                          | 安保法制での自衛隊任務                                                                         |
|------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1992年(日本がPKOに参加)以降～2016年2月まで(国連統計) | 各国軍人 460人 | 近年、PKOは治安活動などにおいて直接戦闘行動に関わるようになっており、戦闘での犠牲者も増えている | これまで自衛隊は任務をインフラ整備や輸送に限定してきたが、安保法は武器使用の範囲を拡大し、武装勢力と衝突する可能性が高まる治安維持活動などにも参加できるようにしている |